

殺し屋1 (2001)

ICHI THE KILLER [米]

メディア 映画

ジャンル アクション 犯罪

製作国 日本／香港／韓国

色彩 Color

時間 128分

初公開日 2001/12/22

公開情報 プレノン・アッシュ

映倫 R-18

【キャッチコピー】

愛は、かなりイタイ。

【解説】

『週刊ヤングサンデー』で連載された人気コミックを「DEAD OR ALIVE」「オーディション」の三池崇監督が映画化したバイオレンス・アクション。新宿歌舞伎町を舞台に、気弱で泣き虫な刺客と、残忍で究極のマゾヒストである安生組の若頭・垣原との抗争を徹底して殺戮シーンにこだわって描く。R-18指定映画。

少年時代からいじめられ、武術を磨くも、いまだ気弱な性格は直らず、いつもおどおどしながら暮らしているイチ。しかし、ひとたび特製スーツに身を包むと殺人マシーンと化す。相手にドヤされ、怖さから泣きながらも必殺のカカト落としで敵の身体を切り刻んでいく。そんなイチは正体不明のおやじ、ジジイの巧みな心理操作で殺戮を繰り返す。一方“ピアスのマー坊”の異名をとる安生組の若頭、垣原。その名の通り全身にピアスを開ける究極のマゾ男。垣原は、失踪した組長がジジイに消されたとの情報からイチの存在に行き着く。イチの残虐さに垣原のマゾの血は騒ぎ、イチとの対決に胸躍らせる……。

【クレジット】

監督	三池崇史		
エグゼクティブプロデューサー	横濱豊行		
	三宅澄二		
プロデューサー	宮崎大		
	船津晶子		
原作	山本英夫		(週刊ヤングサンデー)
脚本	佐藤佐吉		
撮影	山本英夫		
衣裳	北村道子		
照明	小野晃		
出演	浅野忠信	Tadanobu Asano	垣原雅雄
	大森南朋		城石一
	エイリアン・サン	Alien Sun	カレン
	SABU	SABU	金子
	塚本晋也		ジジイ
	KEE	Kee	龍
	松尾スズキ		三郎／二郎

國村隼
寺島進
菅田俊
手塚とおる
有蘭芳記
新妻聡

船鬼
鈴木
Shun Sugata